

■津金(文左衛門)胤臣

尾張藩奉行。高齢になって開拓事業を指揮、完成直後に没した。

つがねたねおみ

・・・・・・1727＝

尾張国名古屋で、尾張藩士津金胤忠の長子に生まれる。幼名は薪之丞。

津金氏は甲斐武田の家臣であったが武田勝頼が滅びたのちに尾張へ移り住んだもので、尾張藩に仕えて胤臣で7代目であった。

享保大飢饉・1732＝5歳：

悪鋳再開・・1736＝9歳：

公事方御定書1742＝15歳：父が急逝したため、家督を継ぎ、

馬廻や藩主徳川宗睦の世子である徳川治休の小姓を経て守役を務め、

徳川吉宗隠居1745＝18歳：

漢学を須賀精斎・亮斎親子に、和歌を冷泉為泰に学ぶなど、学問に親しむとともに武術にも秀で、また経済・土木など実学にも長けた人物であったという。

徳川吉宗没・1751＝24歳：

山脇東洋解剖1754＝27歳：

大岡忠光没・1760＝33歳：

・・・・・・1763＝36歳：金方納戸役となり、

加賀千代句集1764＝37歳：**\*勘定奉行**、

田沼意次老中1772＝45歳：

・・・・・・1777＝50歳：先手物頭と要職を歴任。

・・・・・・1781＝54歳：

田沼意次失脚1786＝59歳：

初の横綱・・1789＝62歳：\_高齢ながら錦織奉行となり、

異学の禁・・1790＝63歳：

混浴禁止・・1791＝64歳：さらに、**\*城下に準ずる熱田奉行兼船奉行に任ぜられ**、

松平定信引退1793＝66歳：

蝦夷地直轄始1799＝72歳：

伊能測量始・1800＝73歳：

**\*藩命により、熱田前新田の開拓事業を指揮を始め、**  
\_開拓民としてこの地に居た加藤吉左衛門・民吉親子と出会い、後に瀬戸窯に磁器をもたらす契機となる。  
海部郡での飛島新田の開拓に携わったが、

膝栗毛始・・1802＝75歳：

\_完成まもなく、病で没した。現在もなお、熱田前新田の地名が残っている。  
のちの改葬の際のアクシデントがきっかけで、切腹説が流布することとなった。

インターネット、